

平成29年教育委員会 第4回定例会

1 日 時 平成29年4月27日(木) 15時00分開会 16時33分閉会

2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室

3 出席委員 教育長 林 秀 樹
教育委員 笹 谷 純 代
教育委員 小 澤 倭文夫
教育委員 荒 田 純 司
教育委員 常 見 幸 司

4 欠席委員 なし

5 出席職員 教育部長 飯 田 敬
教育部次長 須 藤 慶 子
教育部市立学校適正配置担当次長 石 崎 政 嗣
学校教育支援室長 中 島 正 人
学校給食センター所長 阿 部 一 博
学校教育支援室主幹(指導担当) 大 山 倫 生
学校教育支援室主幹(学務担当) 成 田 和 陽
学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 佐々木 雅 一
教育総務課長 笹 山 貴 史
施設管理課長 伊 藤 雅 浩
生涯学習課長 海 谷 昌 弘
生涯スポーツ課長 丸 田 健太郎
総合博物館副館長 東 山 一 成
教育総務課総務係長 安 藤 英 明
教育総務課総務係 会 沢 秀 紀

6 傍聴人 なし

7 議 題

議案第1号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案

議案第2号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案

議案第3号 小樽市就学指導委員会委員の委嘱案

議案第4号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案

議案第5号 平成30年春の叙勲候補者の推薦案

- 協議第1号 今後の学校再編の進め方について
- 協議第2号 平成29年度教育費補正予算について
- 報告第1号 平成29年度小樽市立小中学校の入学式の状況について
- 報告第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査について
- 報告第3号 平成28年度教職員の研修参加状況について
- 報告第4号 平成29年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について
- 報告第5号 小中学校の学校再編について
- 報告第6号 第29回おたる運河ロードレース大会について
- 報告第7号 平成28年度監査報告について
- その他 ・寄附採納について

8 議 事

林教育長 ただいまから、教育委員会第4回定例会を開会いたします。
本日の会議の議事録署名委員に、荒田純司委員を御指名させていただきます。
はじめにお諮りいたします。議案第5号「平成30年春の叙勲候補者の推薦案」は会議規則第13条第1項第2号により、協議第1号「今後の学校再編の進め方について」は同項第5号により、協議第2号「平成29年度教育費補正予算について」は同項第3号により非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 では、そのようにさせていただきます。
早速議事に入りたいと思います。それでは、議案第1号の説明をお願いします。

議案第1号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案

学校給食センター所長 議案第1号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案について御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、学校給食共同調理場条例第4条の規定により設置しております学校給食センター運営委員会委員13名のうち、2名の委員に交代がありましたので、この後任を委嘱するためであります。資料の1枚目が新委員の一覧表、2枚目が旧委員の一覧表になっており、交代する委員を太字で表示しております。

交代する委員のうち1名は、小樽市校長会推薦の長橋小学校長 ^{さわもとまさひろ} 澤本昌宏委員から辞任の申し出があり、後任として、同会より菁園中学校 ^{ふくだのぶまさ} 福田信正校長の推薦がありました。

また、もう1名につきましては、小樽市保健所の元生活衛生課長 ^{なんぶひろし} 南部博志委員の人事異動に伴いまして、後任として、保健所より本間勝幸生活衛生課長 ^{ほんまかつゆき} の推薦がありましたので、それぞれ委員に委嘱したいと考えております。

なお、任期につきましては、前任者の残任期間である平成29年10月31日までとなります。

以上、本委嘱案につきまして、御審議のほどよろしくお願いいたします。

林教育長 ただいまの議案につきまして、御意見・御質問等ありましたらお願いします。
よろしいですか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、このとおり決定し、議案第1号を終了いたします。
それでは、議案第2号の説明をお願いします。

議案第2号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案

学校教育支援室主幹（学務担当） 議案第2号 小樽市奨学生選考委員会委員の委嘱案について御説明いたします。

小樽市奨学生選考委員会では、高等学校又は教育委員会が高等学校の課程と同等であると認めた学校に在学する市内の生徒が、経済的な理由により学費の支払いが困難な場合、申請者の中から世帯の収入、成績などを勘案し、奨学生を選考するものです。

3枚目の旧委員名簿を御覧ください。今回は、西陵中学校長 池野裕司氏、北照高等学校長 小玉智氏の両氏から委員辞任の申し出がありました。

1枚戻って2枚目の新委員名簿を御覧ください。新たに、小樽市校長会から朝里中学校長 名取俊晴氏、小樽市高等学校長会から北照高等学校長 宮川恒美氏が推薦されたことから両氏の委嘱を提案するものです。

なお、補欠の委員のため、任期は前任者の残任期間である平成29年6月30日までとなっております。

以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

林教育長 ただいまの説明につきまして、御意見・御質問等ありますか。
よろしいですか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、このとおり決定し、議案第2号を終了いたします。
続きまして、議案第3号の説明をお願いします。

議案第3号 小樽市就学指導委員会委員の委嘱案

学校教育支援室主幹（指導担当） 議案第3号 小樽市就学指導委員会委員の委嘱案について御説

明いたします。

小樽市就学指導委員会は、医師、教育職員、児童福祉関係職員等を委員として組織しており、小学校に入学予定の新入学児童を対象に、保護者からの要請を受け、保護者面談や発達検査等を実施した上で、望ましい教育的環境や就学先を審議し、総合的に判断して、保護者や入学予定校に提示することを目的として設置しております。

3枚目の旧委員名簿を御覧ください。今回は、北海道高等聾学校の小久保芳子先生、桜小学校の渡辺雅行校長先生、稲穂小学校の井川清文先生が退職となり、辞任の申し出がありました。

2枚目の新委員名簿を御覧ください。委員の任期は平成29年5月31日までとなっており、改選は6月1日となっていることから、例年、新たな委員の補充はしておりませんが、今回校長会から後任の推薦がありましたので、稲穂小学校の田中賢一校長先生の委嘱を提案するものです。

なお、新たな委員の委嘱については、来月の定例会にて、改めて提案させていただく予定となっております。

以上、御審議のほどよろしく願いいたします。

林教育長 ただいまの説明につきまして、御意見・御質問等ありますか。
よろしいですか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、このとおり決定し、議案第3号を終了いたします。
それでは、議案第4号の説明をお願いします。

議案第4号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案

教育総務課長 議案第4号 小樽市立学校管理規則の一部を改正する規則案について御説明いたします。

本規則案は、市町村学校職員に準用されます「北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例」の一部改正が今年1日にあり、これに伴いまして「小樽市立学校管理規則」の一部を改正するものであります。

具体的に申し上げますと、土曜日、日曜日などに学校職員が勤務する場合、平日の勤務日と勤務時間の割振りを変更することが可能となっておりますが、これまでは、4時間の割振り変更のみしか認められていなかったため、2回割振り変更を行った場合には、4時間プラス4時間で計8時間の割振り変更となり、1日の勤務時間7時間45分を超過してしまい、1日の休みに代えることができませんでした。本改正により、3時間45分の割振りが可能になったことから、4時間プラス3時間45分で計7時間45分となり、1日の休みに代えることができるようになったものであります。この改正に伴い、小樽市立学校管理規則の勤務時間の割振り変更の部分にこれを追加する必要が生じたものです。

また今回の規則改正に合わせまして、平成10年に北海道条例及び人事委員会規則が改正された際、「市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例・規則」は、それぞれ「北海道学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例・規則」の規定を準用する形となっていました。小樽市の学校管理規則が以前のままとなっていたことから、他自治体の学校管理規則の規定を参考にし、規定を改めたものであります。以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

各委員 (異議なし)

林教育長 もう少し早く直せたのかもしれませんが、整理をさせていただきましたので、今後こういう取扱いにするということで、このとおり決定いたします。続きまして、報告第1号の説明をお願いします。

報告第1号 平成29年度小樽市立小中学校の入学式の状況について

学校教育支援室主幹（指導担当） 報告第1号 平成29年度小樽市立小中学校の入学式の状況について御報告いたします。

この度の入学式に際しまして、委員の皆様には大変お忙しい中、来賓として出席していただきまして、ありがとうございました。

まず、指導の経過についてですが、卒業式以降、3月27日の臨時校長会議において、入学式に向けた適切な実施及び報告について指導しました。卒業式の報告の際にも御説明いたしましたが、最悪の事態を想定した「危機管理」の徹底を含めて、昨年度より一歩でも前進するよう指導を続けてまいりました。その結果、実施形態や式場内の国旗の正面貼付など、市内全ての学校において、適正な形で実施されました。

国歌の伴奏については、ピアノ伴奏が小学校において2校、中学校において5校と、昨年度に比べ1校増加いたしました。歌唱の状況については、全ての小中学校で「しっかり歌唱した」と報告を受けております。

また、今年度の入学式においては、全ての小中学校で国旗が式場外にも掲揚されたことが大きな改善でした。

2枚目の、報告第1号資料を御覧ください。各学校の実施状況が一覧になっておりますが、卒業式後、掲揚塔がない学校については、玄関や屋上の壁面に国旗掲揚のための設備を設置し、掲揚することができました。

今後も、儀式的行事のねらいを踏まえた内容を充実させるよう継続的に指導してまいりたいと考えております。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの報告に関して、御意見・御質問等ありますでしょうか。
よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、以上で報告第1号を終了いたします。
次に、報告第2号の説明をお願いします。

報告第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査について

学校教育支援室主幹（指導担当） 報告第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査について御報告いたします。

4月18日、火曜日、全ての小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に、平成29年度全国学力・学習状況調査が実施され、無事終了いたしました。

市教委では、本調査の円滑かつ確実な実施のために、これまでと同様、3月22日に小樽市実施本部を設置し、同月27日の調査責任者会議及び4月4日の学校担当者説明会において、調査当日までのスケジュールや実施体制の確立など、順調に準備を進めてまいりました。

今年度の実施状況についてですが、小学校では736名、中学校では839名の計1,575名が調査を受け、未実施は、小学校で37名、中学校では49名の計86名となりました。未実施の理由としては、記載のとおり、病気、旅行などの家庭の事情、忌引、不登校によるものとなっております。

例年、文部科学省から提供される結果は8月下旬ですが、各学校には、速やかに自己採点を行い、校内の学力向上検討委員会等を開催して組織的に結果を分析し、早い時期に授業改善の方針を立て、児童生徒の個別の指導の改善に生かすよう指導しております。

また、5月から実施される学校教育指導において、自己採点結果等の報告を求め、学校の実情に応じた学習状況等の改善点について指導するとともに、教育委員会で示した学力向上のための「5つの改善方策」に基づく、学校の取組及び家庭と連携した取組を徹底してまいりたいと考えております。

なお、今年度も学力向上検討委員会を設置し、学力向上研修会を開催するなどして、教員の授業改善に向けて取り組んでまいります。

最後に、市教委としての公表の在り方については、基本的には昨年度と同様に教育委員会は小樽市の結果を公表し、各学校は保護者や学校評議員に自校の結果をお知らせするという対応を考えておりますが、今年度から小学校の調査結果を中学校へ送付することなどが可能となりましたので、具体的な方法なども含め、詳細につきましては、今後、御協議いただければと思います。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの報告につきまして、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

常見委員 質問です。未実施数が小学校で4.7%くらい、中学校で5.5%くらい。これは例年に比べて、大体こんなものなのでしょうか。

学校教育支援室主幹（指導担当） ちなみに昨年度は小学校で19名、中学校で31名、計50名の未実施です。それに比べると、今年度についてはかなり欠席者が多いという状況になっています。

常見委員 病欠が多い、と。

学校教育支援室主幹（指導担当） 病欠と、中学校においては不登校を理由に、というのが、今年度は多くなっています。

林教育長 ほかにありませんか。

笹谷委員 結果が出てからですけれども、授業の改善のほうは例年いつもしていただいているのですけれども、合わせて、家庭生活・生活習慣の部分も、何か対策できないかな、というふうに思うのですけれども、今、生涯学習課のほうでわくわく共育ネットワークというのがあるので、是非こちらの結果もそちら（わくわく共育ネットワーク）のほうに流せるものは流していただいて、その上で小樽市としてこういう課題があるので、という連携した動きができればいいかな、と思うので、ちょっと検討をお願いします。

学校教育支援室主幹（指導担当） わかりました。生活習慣の部分もありますので、今後、生涯学習課と連携を取り合って、今年度やっていきたいと思います。

林教育長 そういうことでよろしくをお願いします。
ほかにありませんか。よろしいですか。

各委員 （なし）

林教育長 それでは、報告第2号を終了いたします。
続きまして、報告第3号の説明をお願いします。

報告第3号 平成28年度教職員の研修参加状況について

学校教育支援室主幹（指導担当） 報告第3号 平成28年度教職員の研修参加状況について、御報告いたします。

昨年度2月末に、平成28年度における教職員の研修参加状況について各学校へ報告を求め、市教委で集約して状況を把握いたしました。

参加延べ回数については2,835回となっており、教職員数は、管理職、一般教員、養護教諭、事務職員を含め646人で、一人当たりの平均参加回数は4.4回となっております。また研修へ参加した実人数は598人で、全体の92.6%となっております。

参加延べ回数2,835回の内訳ですが、小樽市教員研修プログラムへの参加が619回、いじめ防止キャンペーン期間中の研修会や教育研究所の検証授業など市教委主催研修会への参加が526回、初任段階教員研修や10年経験者研修、グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修など道教委主催研修会への参加が548回、後志教育研修センターや北海道立教育研究所など研修講座への参加が119回、公開研究会への参加が465回、その他教育研究団体主催の研修会への参加が558回となっておりますが、右側に掲載しているものは、ほんの一部ですので、各学校からは、市内や道内はもとより、道外で開催している研修会や研究会などにも参加しているとの報告をいただいております。

なお、この表には記載しておりませんが、このほかにも、小樽市教育研究会における年5回の研究部会を含めると、ほぼ全ての教職員が、学校を離れて多くの研修会や研究会に参加し、研修を深めております。

平成28年度の教職員の研修参加状況については、5月の校長会議で報告するとともに、今年度も各学校で状況把握を行い、研修内容が自校の経営及び授業の改善に効果的に反映されるよう、今後も継続的に指導してまいりたいと考えております。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの説明につきまして、御意見・御質問等ありましたらお願いします。
よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、報告第3号を終了いたします。
続きまして、報告第4号の説明をお願いします。

報告第4号 平成29年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について

学校教育支援室主幹（指導担当） 報告第4号 平成29年度小樽市教育委員会教員研修プログラム等について御報告いたします。

今年度の教員研修プログラムについては、平成29年度小樽市学校教育推進計画の取組を踏まえ、「年間を通じて学校改善の方策を探る」授業力向上特別研修講座を5講座、「日常の授業の改善を図る」授業力向上に関する研修講座を5講座、「今日的な課題に応じた実技講習」として実技講習会を4講座、「今日的課題に応じた実践的研修」として課題別研修講座を3講座、「先進校の実践に学び、学校改善に生かす」視察研修を1講座、計18講座を実施いたします。

研修会の内容については、まず「授業力向上特別研修講座」では、昨年度に引き続き、前秋田大学で、現在、埼玉学園大学の浦野教授をお招きし、今年度は、朝里中学校と桜町中学校における校内研修の共同研究者として年間を通した研修を行い、6月と11月の2回の講座を実施することにより、生徒及び学校体制の変容を検証し、その成果を市内の小中学校へと広がるよう取組を進めてまいります。

次に、今年度も、道徳の教科化に向け「道徳教育特別研修講座」を開催し、筑波大学附属小学校の加藤教諭をお招きし、望洋台小学校と潮見台中学校において授業の公開及び筑波大学附属小学校の加藤教諭による示範授業や講演会等を行い、年間を通して道徳教育に関わる実践事例を作成することにより、その成果を市内の小中学校へと広がるよう取組を進めてまいります。

3つ目は、今年度新たに「英語教育特別研修講座」を開催し、関西外国語大学の中嶋教授をお招きし、北陵中学校において授業を公開し、今後の英語教育のあり方について助言を受け、その成果を広く市内の小中学校に示します。

次に「授業力向上に関する研修講座」についてですが、今年度の特色として、学習指導研修講座では、北海道教育委員会の指導主事等を講師として招き、次期学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」、いわゆるアクティブラーニングの実現に向けて、各教科等における授業改善のあり方について研修をいたします。

次に「実技講習会」ですが、英会話スキルアップ講習会については、今年度から平成31年度までの3年間で、全ての小学校教員に受講を促すことで、小学校英語の教科化を見据えた教員の英会話のスキルアップを図ります。

次に「課題別研修講座」ですが、今年度の特色として、キャリア教育研修講座では、小樽青年会議所から講師を招き、社会人として望まれる人間を育てる教育について研修するとともに、キャリア教育実践指定校である西陵中学校の実践を発表し、その成果を広く市内の小中学校に示してまいります。

最後に、今年度の視察研修ですが、学校力向上に関する総合実践事業の実践指定校である岩見沢市立南小学校と明成中学校を視察することで、学力向上や学校の組織体制等に関する取組について、成果を共有していきたいと考えております。

次のページを御覧ください。今年度の教員研修プログラムについては、4月の校長会議において提示し、各学校から積極的に参加するよう指導しております。また、下の方にありますように、小樽市教育研究所の研究員による検証授業や学力向上実践交流会、いじめ防止キャンペーン期間中の研修会など、教員研修プログラム以外の市教委主催の研修会を21講座予定しております。

次のページを御覧ください。平成29年度公開研究会の予定です。

昨年度、公開研究会を開催した学校は、小学校15校、中学校10校で、34校中25校でしたが、今年度は、小学校16校、中学校11校で、33校中27校が公開研究会を開催する予定となっており、公開研究会を開催する学校が年々増加し、校内研修の活性化が図られつつあると認識しております。

児童生徒の学力向上及び信頼に応える学校づくりを進めるためには、教職員の資質・能力の向上を図ることが不可欠です。今年度は、教員研修プログラム18講座、市教委主催

の研修会など21講座、公開研究会が27校予定されており、そのほかにも、道教委主催の研修会や道立教育研究所、道立特別支援教育センター、後志教育研修センターでの研修に、多くの先生方が計画的に参加し、教員一人一人の指導力の向上に努めることができるよう、校長会議等において指導してまいりたいと考えております。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの説明に関しまして、御質問・御意見等ありましたらお願いします。
今年も研修講座、盛りだくさんですけれども、なるべく公開研究会は参加してもらえるように、どうしても11月に固まってしまうのですけれども。

小澤委員 そうですね。

笹谷委員 同じ（11月）ではもったいない感じがします。

林教育長 もったいないけれど、学校のほうでは、こちら辺（11月）が一番やりやすいのかな。

学校教育支援室主幹（指導担当） 学校の都合で決まっています。

荒田委員 事前にちょっと調整とかできないのでしょうか。

学校教育支援室長 校長会事務局に依頼しまして調整をかけて、でもこの結果になっています。今後の課題になっているのは校長先生方もわかっていまして、せっかくやるのだから（多くの先生に観てもらいたい）という思いで、今後、校内研修の年間計画等との調整をしながら、徐々にやっていきたい、ということは校長会でもおっしゃっていました。

林教育長 去年はほとんど11月だったけれど、今回の（予定）をみると少しは動いていますね、9月とかにずれて。
ほかにありませんか。よろしいでしょうか。

各委員 （なし）

林教育長 それでは、報告第4号を終了いたします。
続きまして、報告第5号の説明をお願いします。

報告第5号 小中学校の学校再編について

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 報告第5号 小中学校の学校再編について御説明いたします。報告第5号を御覧ください。

前回の第3回定例会で概略のみ報告しておりました、中央・山手地区中学校の再編にか

かる関係小学校保護者への説明について報告いたします。

中央・山手地区の中学校の再編については、西陵中学校及び松ヶ枝中学校を会場に、これまで地区別懇談会をそれぞれ3回、平成28年1月、3月、7月に開催しておりますが、保護者の参加が少なかったことなどから、両校の校区に関係する小学校の保護者へ再編に関する教育委員会案を説明し、理解を深めていただくため、記載のとおり2月10日から3月13日に緑小学校、入船小学校、最上小学校、稲穂小学校の保護者会にお伺いし説明を行いました。

保護者会では、中央・山手地区の中学校を3校から2校に再編し、1校は菁園中学校、もう1校は西陵中学校と松ヶ枝中学校の統合校で小樽商業高校閉校後の施設を活用するという教育委員会の考えを、資料を基に最初に説明を行い、その後、質問や御意見等をいただきました。なお、この資料につきましては、これまでの懇談会で配っている資料をまとめたものとなっております。

報告第5号の1ページ中段を御覧ください。今回いただいた主な質問や意見等について学校ごとにまとめております。

緑小学校保護者からは、教育委員会の案で進んだ場合の統合時期や最上小学校を統合校として使用すること、中学校の特別支援学級などについて質問がありました。また今後、子供が減少し学級数が減ることで教員数も減り、子供たちの学力に影響が出るかもしれないので、西陵中学校と松ヶ枝中学校を統合し、よりよい環境で学ばせてほしいという意見をいただきました。

次に、2ページになりますが、入船小学校保護者からは、小樽商業高校を使用した際の施設整備や最上小学校を統合校として使用すること、統合に関する指定校変更の特例などについて質問がありました。また、生徒数が減少し、先生の数もクラス数で決まっているのであれば統合は必要で、学校の場所は両校の間にある小樽商業高校が良いという意見をいただきました。

次に、3ページ中段になりますが、最上小学校保護者からは、バス通学支援の考え方についての質問や通学路の除雪について意見をいただきました。

次に、稲穂小学校保護者からは、統合に関する指定校変更の特例や統合に伴う子供たちの負担に対するフォロー、松ヶ枝中学校と向陽中学校との統合、教育委員会案で小樽商業高校が恵まれた教育環境にあるとする根拠、小樽商業高校を統合校として使用する場合の費用、生徒が2度統合を繰り返すことになることなどについて質問がありました。また、小樽商業高校は坂があり冬の通学が大変であるため、小樽商業高校校舎の利用は反対、もう一度統合を経験するのは親も子も負担である等の意見をいただきました。

このたびの保護者からのこうした質問や意見につきましては、今後の地区別懇談会などで紹介しつつ更に議論を深めてまいりたいと考えております。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの報告につきまして、御意見・御質問等ありますか。

笹谷委員 今回初めて、夜ではなく、保護者会というタイミングで説明されたということですが、やはり、いわゆる当事者というか、該当するお子さんの保護者の方の御意見を聴いたというのはすごく良かったのではないかと思います。今後こういった保護者の方の御意見を聴いていくということはお考えですか。

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当） 今後また懇談会を開いていくこととなりますが、時間や場所などについては、こういった（保護者の）皆さんが御参加しやすいようなことも考慮しながら考えていきたいと考えております。

林教育長 ほかにありませんか。よろしいですか。

各委員 （なし）

林教育長 それでは、報告第5号を終了いたします。
続きまして、報告第6号の説明をお願いします。

報告第6号 第29回おたる運河ロードレース大会について

生涯スポーツ課長 報告第6号 第29回おたる運河ロードレース大会につきまして御報告いたします。

第29回おたる運河ロードレース大会実行委員会の総会を去る4月4日に開催し、来る6月18日、第三日曜日、色内ふ頭公園を会場として、開会式8時30分、競技開始9時ということで開催いたします。申込みはすでに開始しておりまして、4月5日（水）から5月8日（月）までとなっております。出場種目等につきましては前回同様に変更はありません。

今回の第29回大会での主な取組や変更点などにつきまして御説明いたします。

安全確保の取組として、小樽警察署からの指導等により警備員について人員を増員、あるいは配置時間を延長するなどしまして、安全対策の強化を図ることとしております。

昨年と同様に今回も、自動車交通のスムーズな流れを確保するため、関門を設けます。10kmコースに1か所、ハーフで3か所設定しています。

参加者全員への参加賞は、昨年のオリジナルスポーツタオルからスポーツリュックへと変更しております。

また、昨年に引き続き、小樽あんかけ焼そば親衛隊に会場に出展していただき、小樽のご当地グルメである小樽あんかけ焼そばを提供していただくことを予定しております。

参加者を増やす取組として、ホームページの充実に努めるとともに、小樽陸上競技協会のホームページとも連携し、更なるPR、周知に努めているところです。

また、今年初めての取組として、市内小中学校に運河ロードレース大会のチラシを配布し、学校において申込みができるようにしております。こうした取組を通じまして、市内の児童生徒の参加を積極的に促し、運動する機会を提供することで、児童生徒の体力向上

に向けた取組の一助としたいと考えております。

最後になりますが、4月26日現在、1,303名の申込みがありまして、昨年同期と比べますと17名の減となっております。また、大会を運営するためのボランティアを引き続き募集しており、御協力をお願いしてまいります。

大会当日は、委員の皆様におかれましては、御都合がつけば御臨席を賜りたくお願い申し上げます。

以上で、第29回おたる運河ロードレース大会の開催について報告を終わります。

林教育長 それではただいまの報告につきまして、御意見・御質問等ありましたらお願いします。今後も引き続きPRに努める、ということですね。

生涯スポーツ課長 はい。何とか昨年並に人数確保していければ、と考えております。昨年を上回るように、考えたいと思います。

林教育長 函館の大会は結構、昨年、一昨年からかなり伸ばしている感じはあるのですか。

生涯スポーツ課長 函館のマラソン大会が元々9月にやっていたのですが、今から3年前に6月に引越して来まして、昨年は新幹線開通もありまして、ハーフマラソンだけではなく公認のマラソン大会も一緒にやったということで、函館市のほうで4,000人くらい増えているということがありまして、おたる運河ロードレース大会は、参加者の分布を見ますと大体7割くらいが札幌を中心に道内の方に御参加いただいております。昨年、前年比で400名ちょっと減ったということで、かなり函館のほうに流れているかな、と思っています。今年はずいぶん空きます。昨年は運河ロードレース大会の次の週が函館マラソンだったのですけれども、今年は函館が2週間後ということで、少し間隔は空きますけれども、それにどこまで太刀打ちできるか、といった状況です。

林教育長 御意見等ありませんか。よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 では引き続きPRに努めていただきたいと思います。
以上で、報告第6号を終了いたします。
続きまして、報告第7号の説明をお願いします。

報告第7号 平成28年度監査報告について

教育総務課長 報告第7号 平成28年度監査報告について御説明いたします。

定期監査の対象につきましては、小中学校は4年で一巡するように、また、事務局は4年に1回対象となるスケジュールとなっております。平成28年度は、小学校7校と中学

校4校の計11校で事務処理についての監査があり、うち6校で指摘事項がありました。

お手元の一覧表を御覧ください。表の左列に監査委員からの指摘事項、右列にその後の措置内容を記載しておりますけれども、奥沢小学校・天神小学校・長橋小学校・松ヶ枝中学校では、嘱託員の出勤簿の処理について、望洋台小学校・忍路中学校では、理化学薬品受払簿の処理について、不備を指摘され、それぞれ是正しております。

今回の定期監査における指摘を受けまして、各学校には個別に指導を行うとともに、校長会議においても注意喚起をしておりますが、間違いやすい書類については、担当者が細心の注意を払いながら事務執行に努めることに加え、決裁時等のチェックにより複数の視点でミスは是正できるよう徹底してまいりたいと考えております。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの報告に関しまして、御質問・御意見等ありましたらお願いします。

小澤委員 この嘱託員の出勤簿というのは、市費の職員ですか、道費のですか。
と訊きますのは、私が実際に携わっていた時には、一日の最後に出勤簿と学校日誌とを突合せをして、検印を押して終わり、と。これは次の日に延ばしたら絶対できないですよ。ただ、改めて考えてみたら、市費の方の出勤簿の整理はその時あまりした記憶がなかったのも、もしかしたら事務職員の方がやっていて、事務職員の方が学校日誌との突合せというのは日常的にやることではないので、その辺りの仕事の進め方にどこか齟齬があるのかな、と思ったので訊きましたので、今後そういう点も合わせて御指導いただければと思います。

教育総務課長 対象につきましては市費の嘱託員です。今、委員のほうからありましたけれども、道費の嘱託員と市費の嘱託員とで、チェックの方法について違いがあるかもしれませんので、これについては確認をさせていただきます。まずい点がありましたら改善していきたいと思っております。

林教育長 実際には道費のほうが厳しいですね。ですから嘱託員のやり方は市の職員と合わせて、ということになるかと思っておりますので、どちらにしても徹底はしなければならないので、その辺指導してまいりたいと思っております。

ほかにありますか。よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、報告第7号を終了いたします。
それでは、その他の報告で、寄附採納についてお願いします。

その他 寄附採納について

教育総務課長 寄付についてですが、3件ありましたので、御報告いたします。

1件目は、特定営利活動法人絵本・児童文学研究センター様から、市立図書館に対し、雑誌「赤い鳥」の復刻版196冊296,000円相当を御寄贈いただいたものです。

2件目は、都通り商店街無農薬野菜即売会実行委員会様から、手宮中央小学校及び朝里小学校に対し、読み物や図鑑などの図書200,000円相当を御寄贈いただいたものです。無農薬野菜の即売会の売上げの一部から、これまで、平成21年度から24年度までは市立図書館に4回、平成26年度からは毎年小学校2校に図書を御寄贈いただいております。

3件目は、小樽みなとライオンズクラブ様から、同クラブ結成56周年記念事業として教育委員会に対し、集団用縄跳びセットなど体育用具一式297,000円相当を御寄贈いただいたものです。

報告は以上です。

林教育長 ただいまの件につきまして、御質問・御意見等ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは本件を終了します。

ただいまから非公開の審議に入ります。報道関係者及び傍聴の方につきましては御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

協議第1号 今後の学校再編の進め方について

学校教育支援室主幹（市立学校適正配置担当）から、今後の学校再編の進め方について説明し、林教育長、常見委員、荒田委員、小澤委員から質問が、林教育長、小澤委員、常見委員、笹谷委員、荒田委員から意見があったほか、全委員による協議が行われた。

協議第2号 平成29年度教育費補正予算について

教育総務課長から、平成29年度教育費補正予算について説明し、常見委員、林教育長、小澤委員から質問があったほか、全委員による協議が行われた。

議案第5号 平成30年春の叙勲候補者の推薦案

教育総務課長から、平成30年春の叙勲候補者の推薦案について説明し、全委員一致により決定した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上をもちまして、教育委員会第4回定例会を終了いたします。